



～共に、学び・高め・支え合い、
一人一人の心の中に「ふるさと入間野小」を育む学校～

狭山市立入間野小学校

学校だより

令和8年3月号

☎04-2958-2718



いるまの

<学校教育目標>

- ・仲よくする子
- ・考える子
- ・やりぬく子



それぞれの「次」へ

校長 宮原 礼典 ひろのり



三寒四温とはよく言ったもので、週に1日2日は肌寒い日が訪れます。それでも日中では汗ばむ陽気となっています。朝晩の冷え込みもだいぶ緩やかになってきました。寒さを乗り越える度に春の訪れを感じます。

2月はインフルエンザ B 型が流行し、6学級を学級閉鎖としました。その関係で授業参観・懇談会や感謝の会を変更しなければならなくなりました。多くの保護者・地域の方にご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ございませんでした。しかしその甲斐もあって変更後はとてもスムーズに行うことができました。ご協力ありがとうございました。

25日に6年生を送る会が行われました。6年生はこの一年間、入間野小学校のリーダーとして様々な場面で先頭に立ち、学校をより良くしようと活動してくれました。その姿を見てきた在校生が、今までの感謝の気持ちを伝える場として設けられたのが6年生を送る会です。各学年趣向を凝らした様々な出し物で6年生に今までの感謝の想いを届けました。全体合唱の「ありがとうの花」も素晴らしかったです。今年の6年生の花文字は「挑」でした。「何事にも挑んでいく」という想いが詰まっています。とても素敵な6年生を送る会でした。



本年度も残り1ヶ月となりました。「一人一人の心の中にふるさと入間野小を育む学校」を、保護者の皆様、地域の方々のお力をお借りして目指し、「仲よくする子 考える子 やりぬく子」の育成に努めて参りました。この目指す児童の姿を、卒業証書を受け取った卒業生の姿、また修了証を受け取った在校生の姿でお示したいと考えています。

6年生は、入間野小学校で過ごせるのも、あと16日となりました。この1年間は、準備登校からはじまり、入学式、ミニバス大会、修学旅行、運動会、スクールフェスタ…と数多くの行事を行ってきました。また、常時活動である委員会活動を精力的に行い、クラブ活動でも、4・5年生をリードして楽しく活動していました。なかよしタイムでは、下級生に気を配りながら、工夫を凝らした活動を考えてくれました。素敵な6年生が卒業してしまうのは大変寂しいのですが、6年生の想いを引き継いだ在校生や教職員で今まで通り、それ以上の優しさで溢れる入間野小学校を作っていきます。卒業生のみなさんは、安心して巣立ってください。

私が6年生を担当した時は、卒業する子供たちに様々な曲を贈ってきました。GReeeeN「キセキ」やEXILE「道」、flumpool「証」などです。曲を聴くとその時代を思い出し、教え子達の顔が浮かび懐かしく思います。今年の卒業生にどんな曲を贈ろうかといういろいろ悩みましたがレミオロメンの「もっと遠くへ」をお贈ります。『「仲間や先生方と共に歩んできた日々」という大切な時間を忘れずに、中学校という新しいステージに胸を張って踏み出して欲しい』という願いを込めました。

もっと遠くへ レミオロメン
～ラストのサビ～
諦めないで その心が
決めた道を走り抜けて
強い風が吹いた日こそ
誰よりも速く強く美しく
駆け抜けてよ 夢の中を
光の方へ 闇を裂いて
きっと答えは一つじゃないさ
あらゆる全力を尽くして行くのさ
もっと遠くへ
君との出合いを抱きしめて行くのさ
もっと遠くへ

中学生になっても仲間と協力する楽しさと大切さを忘れずに大きく羽ばたいてください。